



コマ印管継手

ステンレス鋼管・銅管兼用形

# MRジョイントⅡ

ステンレス鋼管・銅管 屋内配管用管継手

日本水道協会品質認証センター認証登録品

用途

給水

給湯

RIKEN



# MRジョイントⅡ

〔 ステンレス鋼管・銅管兼用形  
小口径管用／圧縮式管継手 〕

MR-JIIは、ステンレス管と銅管の兼用形で屋内の給水・給湯用、温水（床暖房など）に使用できる、施工の容易なメカニカル継手です。

現場施工がしやすいように、特殊な工具類を使用せずに施工できる配慮がなされています。

## 1 適用範囲

適用管、用途、適用温度、使用圧力は下表のとおりです。

製品名	適用管	用途	適用温度	使用圧力
MR ジョイントⅡ	JIS G3448 一般配管用ステンレス鋼管 JWWA G115 水道用ステンレス鋼管 JIS H3300 銅及び銅合金継目無管 配管用銅管 Mタイプ JWWA H101 水道用銅管 2形 Mタイプ	・給水、給湯 ・温水 (床暖房など) ※詳細は当社まで お問い合わせください。  *軟質銅管には必ず別売りの専用 コアを使用してください	0 ~ 100℃	0 ~ 1MPa

●用途：給水、給湯、温水（床暖房など） ※詳細は当社までお問い合わせください。

屋内配管用で埋設用途には使用できません。

●軟質銅管は、15A(1/2B) 及び 20A(3/4B) に使用できます。

※25A(1B) には使用できません。



**注意**

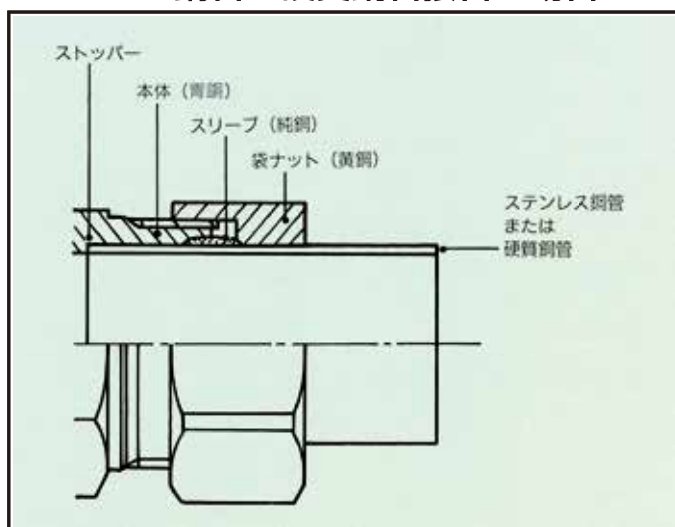
●上記の適用範囲は必ず守ってください。範囲を外れて使用しますと、漏れ、抜け、腐食あるいは耐久性低下の恐れがあります。

( 使用圧力：JWWA G115 水道用ステンレス鋼管では 1MPa 以下、JWWA H101 水道用銅管では 静水頭 100m 以下と規定されています。 )

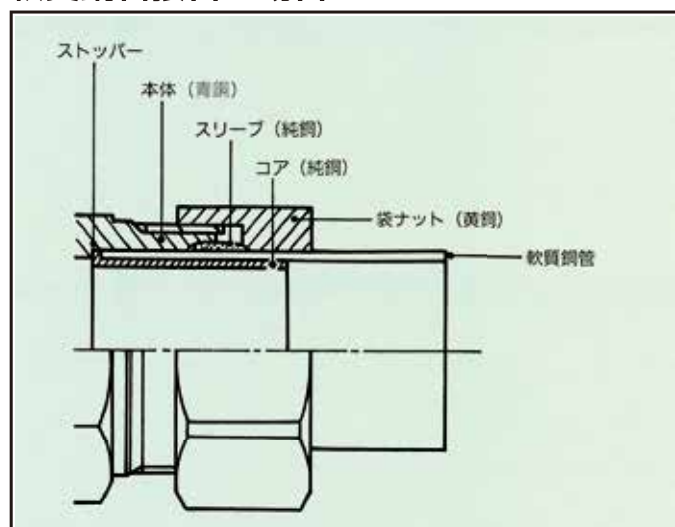
## 2 構造および特長

### MRジョイントII (MRJII)

#### ステンレス鋼管、硬質銅管接合の場合



#### 軟質銅管接合の場合



袋ナットの締め付けによって、スリーブが管に圧着して、流体のシールおよび管の抜け出しを阻止する圧縮式の管継手です。

※軟質銅管には必ず別売りの専用のコアを使用してください。(Mタイプ)

#### 特長

●**ステンレス鋼管・銅管兼用形**

ステンレス鋼管と銅管の異種管接合がそのまま可能です。

●**特殊工具を必要としない**

市販の一般的な工具だけで接合できます。

## 3 種類および呼び

種類 呼び SU	エルボ(L)	45°エルボ(45°L)	チーズ(T)	ソケット(S)
13	●	●	●	●
20	●	●	●	●
25	●	●	●	●

種類 呼び SU	径違いチーズ(RT)	径違いソケット(RS)
20×13	●	●
20×13×13	●	
25×13	●	●
25×20	●	●
25×20×20	●	

種類 呼びSU×B	給水栓用チーズ(WT)	給水栓用ソケット(WS)
13× $\frac{1}{2}$	●	●
20× $\frac{1}{2}$		●
20× $\frac{3}{4}$	●	●

種類 呼びSU×B	おすアダプター(AP)	めすアダプター(AQ)	給水栓用エルボ(WL)	給水栓用ロングエルボ(LWL)
13× $\frac{1}{2}$	●	●	●	●(長さ70mm)
20× $\frac{1}{2}$			●	
20× $\frac{3}{4}$	●	●	●	
25×1	●	●	●	

銅管の15Aは13SU、20Aは20SU、25Aは25SUに対応します。

# 4 接合手順 **MRジョイントII**

ステンレス鋼管、硬質銅管と軟質銅管では一部接合方法が異なりますので、各々の項を注意してください。

## 接合用具



ロータリーチューブカッター・弓のこ・ヤスリ・ウェス・油性インク・スパナ・バイスグリップ・モンキーレンチ

〈軟質銅管接合の場合〉

銅管用リーマ・因幡電工製サイジングツール  
(建築用銅管修正機)

### △注意

MRジョイントIIのスリーブは軟質材のため、変形やキズがつきやすいので取扱いに注意してください。施工前に不用意に袋ナットを外したり、強く締め付けたりしないでください。

## ① 管の切断



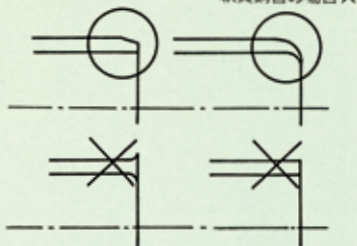
ロータリーチューブカッターまたは弓のこを用いて、管軸線に直角に切断してください。

### △注意

管を固定して切断する際、変形しないよう注意してください。

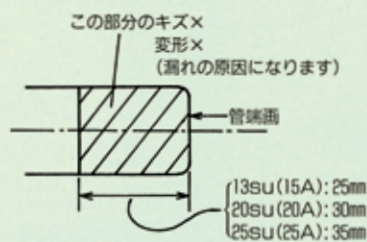
## ② 管端部の仕上げ

### バリ取り面取り



軟質銅管の場合×

### 管端部の確認



### 軟質銅管管端部の矯正例



### (1)バリ取りおよび面取り

弓のこを使用した場合、ヤスリを用いて切断面のバリを除去した後、必ず管端面の面取りを行ってください。

〈軟質銅管接合の場合〉

上記の作業以外に、必ず銅管用リーマを用いて内バリを除去してください。バ리를完全に除去しないとコアの挿入が困難になりますので十分に除去してください。(ロータリーチューブカッターを使用した場合も同じ)

### (2)管端部の確認

呼び	確認範囲
13su(15A)	25mm
20su(20A)	30mm
25su(25A)	35mm

上記範囲にキズや変形があると、漏れの原因となります。必ず異常がないことを確認してください。被覆銅管の場合は、上記範囲の被覆を除去してください。この際、管にキズをつけないよう注意してください。

### (3)管端部の仕上げ

管内外面に付着した切り粉やゴミ等をウェスなどで除去してください。

〈軟質銅管接合の場合〉

管端部を因幡電工製サイジングツールを用いて真円に矯正してください。

### △注意

サイジングツールは、Mタイプ専用のものを使用してください。



### ③ 管の差し込み

軟質銅管接合時の  
コア挿入写真



管の差し込み写真



袋ナット、スリーブを組立てたままの状態、管を継手内部の段部（ストッパー）に突き当たるまで差し込んでください。スムーズに差し込めない場合は、以下の理由が考えられますので、次の通り行なってください。

- 1.バリ/面取り不足→②の作業を再度行う。
- 2.スリーブの傾き →袋ナットをゆるめて直す。

〈軟質銅管接合の場合〉

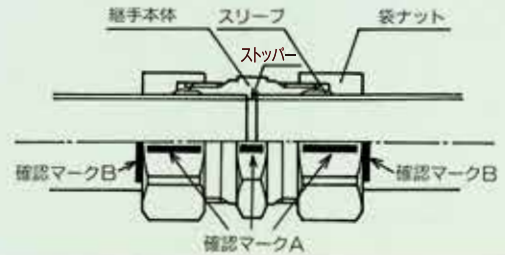
上記差し込み作業を行う前にコアを挿入してください。コアは、Mタイプを使用してください。

**注意**

管またはコアを無理に挿入しないでください。

### ④ 手締めおよびマーキング

A、Bを油性インクで付けてください。



管を継手奥のストッパーに突き当たるまで挿入した状態で袋ナットを軽く締め付けます。その後、油性マジックなどで確認マークAおよびBを必ず付けてください。

**注意**

確認マークは、締め付け回転数の確認および作業中の不用意な管の抜け出しの確認のために必要ですので、必ず付けてください。

### ⑤ 本締め



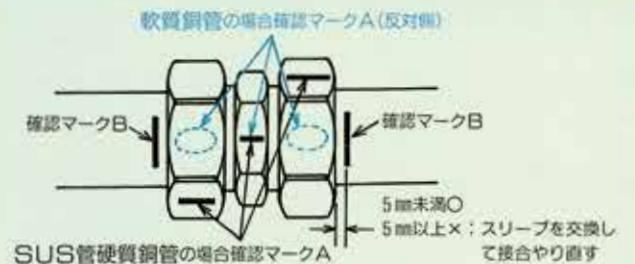
確認マークAを基準に、工具を用いて袋ナットを下記の表の回転数に従って締め付けてください。締め付けの際は、管の共回りが発生することがあります。管の反対側がすでに接合されている場合、管をバイスグリップなどで固定して作業を行ってください。

管種	回転数
ステンレス鋼管・硬質銅管	1½ (1回転+袋ナット1コマ)
軟質銅管	1¾ (1回転+袋ナット3コマ)

**注意**

- ・上記回転数に過不足があると性能が発揮されません。
- ・パイレンチは袋ナットを損傷する原因となるので、使用できません。
- ・管の共回りなどにより、袋ナットがゆるんだ場合、正常な位置からさらに1/6回転増し締めしてください。
- ・袋ナットの締め付けの際は、必ず本体を固定し、袋ナットを回して締め上げてください。本体を回して締め付けると、本体とスリーブの当たり面で摩擦によりスリーブに傷が付き、漏水の原因となります。

### ⑥ 接合の確認



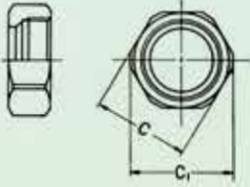
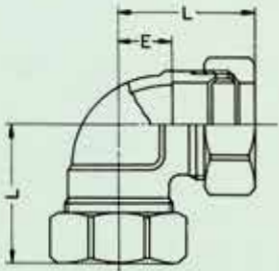
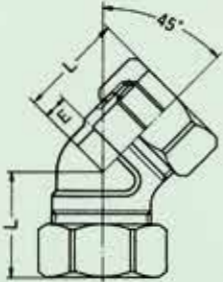
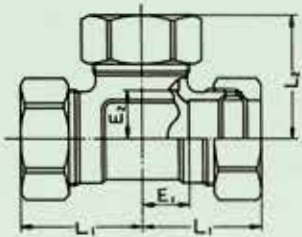
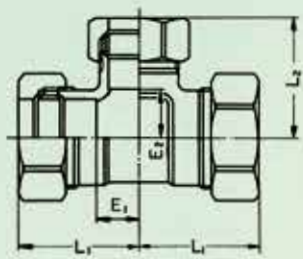
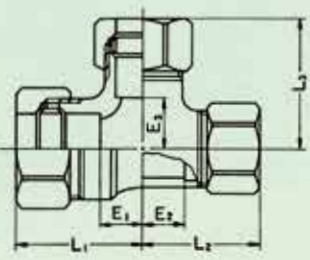
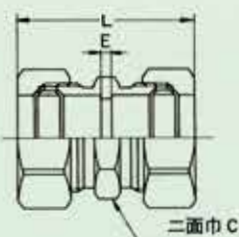
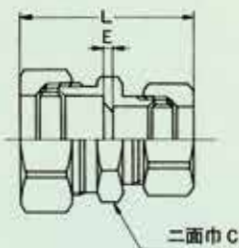
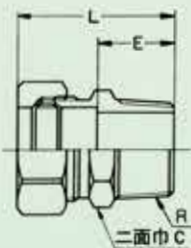
確認マークAによって、回転数を、また確認マークBによって不用意な抜け出しがないかをチェックしてください。

確認マークBが袋ナット端部から5mm以上離れている場合は、接合作業をやり直してください。この際すべての部品は、必ず新しいものと交換してください。

**注意**

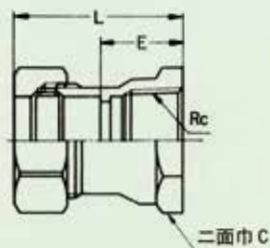
- ・配管の角度調整  
配管の角度調整のため、いったん締め付けた袋ナットをゆるめての修正は1回に限り可能ですが、この場合、正常位置よりさらに1/6回転増し締めしてください。
- ・施工後は配管に外力を与えないでください。  
施工後に配管の上に乗ったり、曲げたり、回したり等の外力を与えないでください。

# 5 サイズ MRジョイントII

袋ナット(MRJ II)				エルボ(MRJ II-L)			45°エルボ(MRJ II-45°L)									
																
呼び SU	C	C <sub>1</sub>	角数	呼び SU	L	E	呼び SU	L	E							
13	24	27	6	13	34	11	13	27	4							
20	32	36	6	20	38	14	20	30	6							
25	41	47	6	25	45	18	25	34	7							
チーズ(MRJ II-T)					径違いチーズ(MRJ II-RT)					径違いチーズ(MRJ II-RT)						
																
呼び SU	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	E <sub>1</sub>	E <sub>2</sub>	呼び SU	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	E <sub>1</sub>	E <sub>2</sub>	呼び SU	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>	E <sub>1</sub>	E <sub>2</sub>	E <sub>3</sub>
13	34	34	11	11	20×13	36	38	12	15	20×13×13	36	34	38	11	11	15
20	38	38	14	14	25×13	39	40	12	17	25×20×20	42	38	41	15	14	17
25	45	45	18	18	25×20	42	41	15	17							
ソケット(MRJ II-S)					径違いソケット(MRJ II-RS)					おすアダプター(MRJ II-AP)						
																
呼び SU	L	E	C	本体角数	呼び SU	L	E	C	本体角数	呼び SU-B	L	E	R	C	本体角数	
13	48	2	22	6	20×13	49	2	30	6	13×1/2	43	20	1/2	22	6	
20	50	2	30	6	25×13	52	3	36	6	20×3/4	47	23	3/4	30	6	
25	55	3	36	6	25×20	53	3	36	6	25×1	53	26	1	36	6	

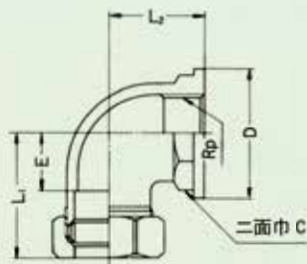


### めすアダプター(MRJ II-AQ)



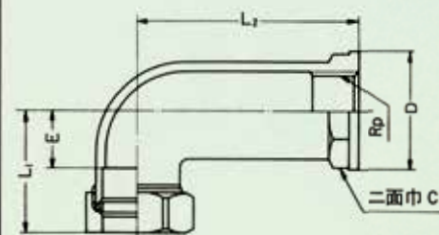
呼び SU-B	L	E	R	C	本体角数
13×1/2	43	20	1/2	27	6
20×3/4	47	23	3/4	32	6
25×1	53	26	1	41	6

### 給水栓用エルボ(MRJ II-WL)



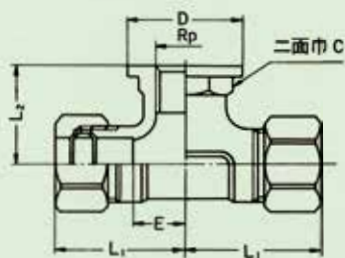
呼び SU-B	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	E	R <sub>p</sub>	C	D
13×1/2	38	29	15	1/2	27	32
20×1/2	40	32	16	1/2	27	32
20×3/4	43	34	19	3/4	32	41
25×1	51	40	24	1	41	49

### 給水栓用ロングエルボ(MRJ II-LWL)



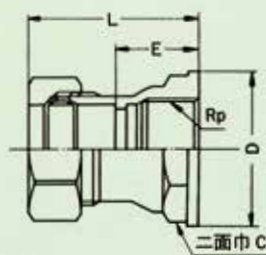
呼び SU-B	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	E	R <sub>p</sub>	C	D
13×1/2×70	38	70	15	1/2	27	32

### 給水栓用チーズ(MRJ II-WT)



呼びSU-B	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	E	R <sub>p</sub>	C	D
13×1/2	38	28	15	1/2	27	32
20×3/4	43	33	19	3/4	32	41

### 給水栓用ソケット(MRJ II-WS)



呼び SU-B	L	E	R <sub>p</sub>	C	D
13×1/2	43	20	1/2	27	32
20×1/2	44	20	1/2	27	32
20×3/4	47	23	3/4	32	41

- L、L<sub>1</sub>、L<sub>2</sub>は締め付け後の概略寸法。
- RはJIS B0203(管用テーパねじ)のテーパおねじ。
- RcはJIS B0203(管用テーパねじ)のテーパめねじ。
- R<sub>p</sub>はJIS B0203(管用テーパねじ)の平行めねじ。

## MR ジョイントⅡ ご使用にあたって

- 適用流体の種類、温度、圧力は必ず 1. 適用範囲に記載の事項を守ってください。
- ご使用する際には、カタログ内の「接合手順」および別冊の「施工上の注意事項」を必ずお読みください。
- MRジョイントⅡを軟質銅管に使用する際は、必ず別売の専用のコアを使用してください。
- 接合作業終了時には、必ず、締め付けあるいは差し込みの確認をしたうえで、水圧試験を行ってください。(エアータストは不可)
- 再使用はできません。  
(但し、角度調整などで、いったん締め付けた袋ナットをゆるめての修正は 1 回に限り可能です。  
この場合は正常位置よりさらに 1/6 回転増し締めしてください。)
- スリーブをキズつけないよう取り扱いには注意してください。
- 保管は屋内を原則とします。梱包して塵埃を避けてください。やむをえず屋外に保管する場合は、直射日光や雨露、塵埃を避ける処置を講じてください。
- 凍結しないよう保温してください。
- その他、ご不明の点は当社までお問い合わせください。

\*カタログに記載している製品の仕様や外観などについては製品改良などのために予告無く変更する事があります。

**RIKEN** 株式会社 **リケン**

**配管コールセンター**  
配管のお問い合わせ先は下記へおねがいします。

**0120-212-016**

携帯電話、PHSからは …… (0766)25-0421 FAX (0766)25-0433

本社:〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1

TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 電話(011)865-1919 仙台 電話(022)773-8825 名古屋 電話(052)201-8681  
大阪 電話(06)4706-6768 福岡 電話(092)474-2175

